

20-11-17

## 列車と自動車の衝突脱線事故を想定した総合復旧訓練を実施 ～新型コロナウイルス感染防止対策の下、列車脱線事故復旧の訓練を行います～

名古屋鉄道では、11月25日(水)13時00分から14時20分まで、築港線 大江駅～東名古屋港駅間において、踏切内に進入してきた自動車と運行中の列車との衝突脱線事故を想定した災害事故総合復旧訓練を行います。

この訓練は、お客さまへのご案内・避難誘導や車両・施設の復旧作業の実践を通して、情報収集方法や復旧作業手順、現場の指揮命令系統などの確認と、災害復旧時の部署間協力体制の確立を目的に毎年実施しており、今年で16回目です。

今回は新たに、新型コロナウイルス感染防止を考慮したお客さまへの案内・誘導訓練を行います。また、訓練当日から新規導入する、介助者の負担が少ない着脱式車いす緊急避難装置「JINRIKI®QUICK」を使用し、車いすご利用のお客さまが線路上から避難する訓練も行います。

なお、訓練の様子は関係各所へライブ配信することにより、訓練場所の3密を避けるとともに情報の共有を図ります。

当日は、安藤隆司(あんどう・たかし)取締役社長、鈴木清美(すずき・きよみ)取締役副社長執行役員・鉄道事業本部長をはじめ、駅や運転現場の係員、土木・車両・電気部門の係員など、約90人が現地にて参加します。

詳細は、下記のとおりです。

### 記

- 1 実施期日 11月25日(水)
- 2 場 所 築港線 大江駅～東名古屋港駅間  
(名古屋市港区)
- 3 訓練時間 開始:13時00分 終了:14時20分
- 4 訓練内容
  - (1) 通報(列車無線による)
  - (2) 列車内の新型コロナウイルス感染対策
  - (3) 被害状況の報告(乗務員タブレットを使用)
  - (4) 情報収集と指揮命令系統の確認
  - (5) 避難誘導  
(着脱式車いす緊急避難装置「JINRIKI®QUICK」を使用)
  - (6) 脱線復旧作業
  - (7) 地上に設置された保安装置の復旧、架線点検(アクションカメラを使用)
  - (8) 軌道修正(エンジン式タイタンパーを使用)

※内容は変更となる場合がありますのでご了承ください。



前回(2019年12月)実施の訓練の様子

以上